

1 / 6

心身を鍛える 空手寒稽古



走破した後、基本突きを行った参加者たち

町空手道協会(足澤國男会長)は、新春恒例の寒稽古を行いました。今年は5歳から70代まで26人が参加。真っ白な空手衣に身を包み、日詰地区から赤石地区を回る約6kmの道のりを「イチ、二、オー」と大きな掛け声を出しながら、気合いを入れて走破しました。理事長の高橋吉見さんは「寒稽古を通じて、人への思いやりの心を育ててほしいと願っています」と話し、赤石地区の中條聡君(5歳)は「寒かったけど、今年も最後まで走り切ることができました。今年は大会で優勝したいです」と意気込んでいました。

12 / 26

地域のつどいの場に たぐさん美術館オープン



TAGさんをはじめ関係者や地域の子どもたち約30人が参加したオープニングセレモニー

日詰地区にある本のくずおか(葛岡武男代表)は店舗の一角にグラフィックデザイナー「TAG」さんの作品を展示する「たぐさん美術館」を開設しました。オープニングセレモニーが行われた後、TAGさんによる似顔絵が来場者たちにプレゼントされました。「子どもたちが楽しめる場所になり、にぎわいが生まれればという思いで開設に至りました」と話す葛岡代表。TAGさんは「今まで常設で作品を展示する場がなかったので、このような場を設けていただきたいと思います。定期的に足を運ぶことができれば」と話しました。今後は作品展示のほか、月に1~2回ほどイベントの開催を予定しています。

1 / 10

小正月行事を通じて 世代間交流



団子をミズキの枝に飾り付ける子どもたち

長岡児童館・小学校、紫波第二中学校の児童生徒45人は、長岡公民館でみずき団子作りを体験しました。同公民館や教育振興運動実践協議会、長岡地区の老人クラブ「長岡長成会」などによる実行委員会が企画。子どもたちは自分たちの好きな形に丸めた色とりどりのみずき団子の一つ一つミズキの枝に飾り付けました。雪田植えや餅つきも体験した後、町食生活改善協議会やJA女性部の皆さんが作った昆布の煮物やなます、お雑煮などの小正月料理を食べて、小正月気分を存分に味わいました。

1 / 8

新年を迎え、 防火意識も新たに



きびきびとした動きで日詰商店街を行進した団員たち

毎年恒例の町消防出初め式がナックス駐車場で行われました。消防団や婦人消防協力隊員、消防署員など約300人が参加。統監の熊谷町長は「全国で高齢者や幼い子どもが亡くなる火災が発生していますが、当町ではここ数カ月大きな火災が発生していません。これも皆さんのきめ細かい消防活動が功を奏しているものと思います。なお一層の精進をお願いしたい」と訓示。阿部秀夫団長は、団員に「火災や災害のない1年にするため、防災活動をしていただきたい」と話しました。式典前には住民たちが見守る中、日詰商店街で士気高らかに分列行進を披露し、防火意識を新たにしました。

1 / 15

人権擁護委員に尽力 法務大臣から感謝状



(左から)熊谷町長、箱崎さん、藤井さん、秋元人権擁護課長

長年人権擁護委員を務めた箱崎正子さんと藤井圭一さんに法務大臣から感謝状が贈られ、町長室で感謝状の伝達式が行われました。箱崎さんは5期15年、藤井さんは4期12年の任期を終え、12月31日をもって退任。伝達式では、盛岡地方法務局人権擁護課長の秋元路恵さんから感謝状が手渡され、熊谷町長がこれまでの活動に対する感謝の意を表しました。箱崎さんは「相談業務や啓蒙活動などを通じて、たくさんの経験と勉強をさせていただきました」と振り返り、藤井さんは「人権擁護委員は相談内容に応じて他の機関を紹介することもできます。法務局の相談電話なども利用していただければ」と話しました。

1 / 15

タグラグビーチームが 東北大会出場報告



全国大会出場を目標に掲げた日詰サンライズA(左2人)と赤石レッドカルロス(右2人)の児童たち

タグラグビーに取り組む日詰小学校の日詰サンライズAと赤石小学校の赤石レッドカルロスは、12月24日に奥州市で開かれた「第1回県知事杯県小学生タグラグビー大会兼サントリーカップ第14回全国小学生タグラグビー選手権大会県予選大会」でそれぞれ1位と2位に輝きました。両チームは東北ブロック大会への出場が決まり、1月15日に熊谷町長と侘美教育長のもとを訪問。日詰サンライズAの小林琉煌さん(日詰小6年)は「東北大会でも頑張ります」、赤石レッドカルロスの畠山鳳太さん(赤石小6年)は「残り2週間の練習を頑張り、全国に勝ち進みたいです」と決意を表明しました。

1 / 26

水分地区恒例の ふれあいお茶会



少し緊張しながらもお茶を楽しんだ子どもたち

水分地区社会福祉協議会(武田正夫会長)と水分公民館(坂本好司館長)は、同公民館でふれあいお茶会を開催しました。同協議会役員と民生児童委員9人、招かれた水分児童館年長組の7人が、赤石地区在住の浅野宗恵先生と弟子の古田栄子さん、阿部潤子さんからお茶のたて方といったき方を教わり、世代間交流を楽しみました。宮崎正士君は「お茶をたてるのが楽しくて、2回挑戦しました。お茶は苦かったけどおいしかった。また飲みたいです」と話してくれました。一生懸命にお作法を教わる子どもたちの姿を見て、大人たちにはたくさんの笑顔が広がっていました。

1 / 17

未然に防ごう! 特殊詐欺



特殊詐欺の電話内容や手口が実演されました

シルバー人材センター(前田稔理事長)はラ・フランス温泉館で「シルバー研修」を開催しました。参加者約60人を前に、紫波警察署の葛巻大介さんと井上和弥さんが防犯や特殊詐欺などについて寸劇を交えて講演。葛巻さんは「泥棒は営業マンを装って地域を回り、鍵の開いている家を狙うことがあります。家族を守るためにも鍵掛けをしましょう。また、特殊詐欺の手口は日々変化していますが、お金に関する話になったら詐欺を疑うことが重要です」と訴えました。星山地区の会員は「詐欺被害などに遭わないためにも、今日の話の頭に入れて行動したいです」と理解を深めていました。